

きれいな空気よいい水を求めて

会報 かんきょう

Vol. 27



photo : 「葵舟と巽櫓」静岡市提供

県内優良施設見学研修会
ふじのくに地球環境史ミュージアム
静岡市中島浄化センター
西ヶ谷清掃工場 …1

環境セミナー
次世代へつなぐ 一美しき水と緑を守るために …3

会員事業所の取り組み …4

かんきょうにゆーす …5



この会報誌は古紙配合率100%、
白色度70%の再生紙を使用してい
ます。

「県内優良施設見学研修会」に参加して

■DATA■

平成29年11月9日(木)

- ①ふじのくに地球環境史ミュージアム
 ②静岡市中島浄化センター ③西ヶ谷清掃工場溶融スラグの説明(静岡市ごみ減量推進課)

テーマは「持続可能な地球環境」

平成29年度優良施設見学研修会は会員19名が参加し2施設を視察しました。

最初に静岡市にある県立「ふじのくに地球環境史ミュージアム」。2016年春に開館した日本初の「地球環境史」博物館です。

旧県立静岡南高等学校の校舎をリノベーションした館は、DSA「日本空間デザイン賞2016」大賞および日本経済新聞社賞を受賞。開館費用低減と同時に、今あるものを有効に活用し、価値を向上させる取り組みとして評価されます。展示室10とミドルヤード、講演スペースなどを備え、学会発表にもこたえることができる設備で100年後の静岡・日本そして世界が豊かであるために何ができるか、何をなすべきかを私たちに問いかけます。

館内は極力表示を小さくし、その分展示物をじっくり見せる手法により、対象物にしっかり迫り大きな感動を得ます。回廊には地球46億年を1年に割りなおしたガイドが来館者をいざないます。現生人類は12月31日に出現し、近代文明のエネルギー大量消費はわずか数秒の出来事といえます。

完全な循環である地球環境。産業革命で巨大な生産力を得た私たちですが、環境破壊と地球温暖化で早急に具体的な対策を講じなければ2100年を迎えることさえ難しいようです。地球に起こった5回の大絶滅。6回目は人為起

源であることを実感し、次世代の人類に明るく持続可能な地球環境を残すため、バトンを持った私たちの責任は重大です。

霊峰富士を仰ぎ見る「ふじのくに」で世界的な地球環境を考察することに大きな意味がありました。滞在時間ではすべて得ることが難しい魅力的な展示、イベントそして人材があり、視察後も何度も訪れたい場所です。

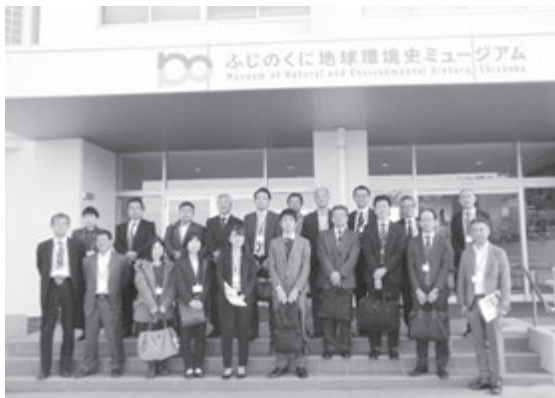
ついで、静岡市中島浄化センター。静岡市に7つある処理施設で70万市民の水の循環を預かります。

中島は、県内初の汚泥燃料化施設が設置され2017年1月に供用開始しました。市内で発生する汚泥を一日75t、年間24,000tの処理能力で約1,362t炭化燃料を製造し販売することにより温室効果ガスの大幅な削減が可能であるといえます。広大な処理施設には臭気も少なく順調に運用される様子がわかります。

海山川と環境に恵まれた静岡。世界一深い駿河湾からの風を感じる中島は水の循環の重要な砦です。恵まれた環境には清純な水資源の循環が欠かすことができません。

静岡市は下水道普及率83.3%※。政令市では下位にありますが、全国平均78.3%※を上回ります。

あまり実感しませんが細長い日本列島に住む私たちは、豊富な降水がある反面、そ



ふじのくに地球環境史ミュージアム





汚泥燃料化施設

ジを受け取った思いです。

環境保全是、ボランティアや慈善活動ではもはやなく、世界の大きな課題となりすべての主体が目指す目標です。世界で合意するSDGs17の目標を達成するための学びや取り組み、「持続可能な地球環境」をいかに残していけるか。完全な循環を持つ唯一の地球の未来を、今ある私たちができることを尽くし、守らねばなりません。

視察開催にあたって事務局の労苦に心から感謝します。次年度も多くの方が参加されることを願っております。

※平成29年3月31日現在 公益社団法人日本下水道協会データより
レポート：はごろもフーズ(株) 西林秀晃

のほとんどが河川に流出し水資源賦存量では世界平均の半分程度です。一人当たり使用できる水はイラク、アフガニスタンなどの中東地域と変わらないといわれています。つまり行政が上水道、下水道を適切に管理し市民生活に支障をきたさないようにしている行動があって、私たちは水資源をストレスなく利用できています。不断の努力と取り組みをもっと評価しなければなりません。「湯水のごとく」のこトワジハ、尽きない無限に通じますが、有限、ともすれば近未来に訪れるのであろう水資源の問題に、しっかりと考え行動する必要があります。

施設内では、西ヶ谷清掃工場の熔融スラグを肥料化する実証実験の報告、食べ残しを減らす「アイコトバは30・10」の説明がありました。

市の取り組みに自身の感想としては、設備投資と、保守点検で大きな金銭的負担があるように感じました。しかし、静岡市行政として低炭素・持続可能な社会の実現のための取り組みに強い責任と意思を持つとの決意に、静岡の企業市民として大きな期待を寄せるとともに深い感銘を受けた次第です。

皆様もご存じのSDGs。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

この視察は、環境に関する最適のプレゼンテーションであり、考えるきっかけを与えてくれたと感じます。地球規模で46億年の過去から現在、そして未来へとつなげる循環。生活に密着し、大きく意識することなく見守るインフラと水の循環。2つの施設からメッセー



静岡市中島浄化センター



静岡市中島浄化センター(静岡市ごみ減量推進課)





環境セミナー

Wednesday, February 14, 2018

次世代へつなぐ — 美しき水と緑を守るために —

講師 京都外国語大学教授 ジェフ・バーグラント氏

テレビなどでもお馴染みのジェフ・バーグラント氏を講師にお招きし、「次世代へつなぐ — 美しき水と緑を守るために —」を演題にお話をうかがいました。

バーグラント氏は、京都在住48年。同志社高校で教師生活22年、その後も様々な大学で20年以上指導されており、日本語歴（関西弁）は私より長く大変流暢です。来日当時や生まれ育ったアメリカでの興味深いエピソードを織り交ぜながら、日本の自然や文化を愛する熱い思いを語っていただきました。

【講演要旨】

自分の常識は、他人の非常識

生まれてから日本に来るまでの20年間、傘をさしたことがなかった。生まれ育ったサウスダコタ州の大草原では、雨が少なく必要がなかったため。一方、日本は梅雨もあり、水が豊富なのが当たり前。しかし、世界的にみると、水が豊富なのは大変ありがたいこと。干ばつが原因で荒廃する国もある。

また、最近では土の上を歩くことも常識ではなくなってきた。本来、自然は感じに「行くところ」ではなく、「ここにある」もの。自然や季節を映した暦である二十四節気、七十二候を知っている人も減った。

常識は時代や地域で変わる。次世代を担う若い人たちに、今あることを当たり前と思わず、自分と異なる価値観や常識を学んでもらうべき。それが成長につながる。

日本人の受信力が環境を守る

日本は「受信者責任型」の文化。情報を受け取る方が、発信された情報を理解し、対応する。それは、環境保全にも役立つ。自然界が発する情報を受信し、解説し、自然と対話し、畏れ、共存している。一方、欧米では人間が自然を支配するという考え方が主流である。

自然界に支えられて生きていることを意識し、感謝すれば、持続可能な開発目標（SDGs）の実

現も可能になる。まずは、自分の生活で改善できるところから実施を。

違和感を喜び、意識改革を

美しい水と緑を残すには、意識改革が必要。昔の日本人はどうだったか再確認したり、今の自分の生活を見つめ直したりすること。それが自分の常識と違えば違和感を覚える。それは、自分の常識が問われているということ。違和感を恐れずに喜ぶことで、新しい意識が生まれる。そういう若い人を育てないといけない。若い人の発想で、気候変動を食い止めるために。

静岡の美しい自然、おいしい水、おいしい空気を守り、次世代に伝えていくために、みなさんには力いっぱい頑張ってもらいたい。

【所感】

講演でバーグラント氏から「企業が中心になって環境問題に取り組む当協会の活動は有効」といった趣旨の発言がありました。企業が取り組むことで、従業員やその家族の意識改革や活動を促し、さらに広がっていくという理由からです。当協会が環境団体であることを改めて認識させられるとともに、自然を愛する気持ちを、次世代へつなげていくことの大切さを学んだ有意義な講演となりました。

レポート：静岡ガス(株) 鈴木洋則



ねじガールの誕生と活躍

興津螺旋(株) 流石昌紀

弊社は1939年に創業。ステンレスねじメーカーとして事業を拡大し国内トップシェアを獲得するに至りました。2003年には環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001の認証を取得し、省エネ・リサイクルの推進、汚染予防活動などに取り組む一方、作業環境の改善にも取り組んでいます。

金属加工の仕事は重筋作業も多く、必然的に男性が職場の大半を占めていましたが、近頃は女性の姿も目立つようになってきました。「ねじガール」（現在9名）と呼ばれる彼女たちの誕生と活躍についてご紹介したいと思います。



ねじガール誕生

少子化が進み人材確保が難しくなっていく中、男性だけに偏った採用を続けていたのではいずれ行き詰る。女性でも無理なくものづくりの仕事が出来るよう職場環境を整えなければならないと考えていた矢先、事務職を志望して入社した女性が新人研修で金属加工の仕事に触れ、工場での仕事がしたいと心変わり。志望職種の変更を願い出てきました。当時工場に女性は一人もおらず、彼女が働く環境は整っているとはいえませんでした。この申し出を受け入れ、女性工員「ねじガール」が誕生しました。

女性目線で仕事を再構築

当時の工場は男性中心の職場でしたが、そこで女性が働くことを良い機会と捉え、彼女の目線で仕事を見直す事に傾注しました。設備の段取り替



え作業で男性が締め付けたボルトが固くて緩められないといえばロングレンチを用意し、火花の飛び散る研削作業に不安を感じるといえば専用の治具を考案しこれを使うよう促しました。製品が一杯に入った重い容器を懸命に積み降ろしする姿を見て昇降機を導入するなど、彼女が負担に感じている事を洗い出して潰していく、これを繰り返す事で徐々に女性が働きやすい環境が整い、その作業方法は同じ職場で働く男性陣からも大いに受け入れられる結果となりました。

女性の活躍

ねじガール誕生後、採用環境は様変わりしました。彼女の活躍に感化された女性達が次々ともものづくりの仕事を目指するようになった結果、今では社員の半数が女性という状態になりました。とはいえ、世間一般においては女性がものづくりに携わる事はまだ珍しく、それ故に彼女たちがその仕事を望んだとしても数々の障壁を乗り越えなければ仕事に就くことはできません。しかし、それらを乗り越えてようやく希望する仕事に就いた彼女達のモチベーションは極めて高く、その仕事ぶりには先輩男性陣も舌を巻いています。結婚、出産、子育てといったライフイベントへの対応など、残された課題は少なくありませんが、会社としてこれらに対応していく事がねじガール達の更なる活躍を促すものと捉え、前向きに取り組んでいきたいと考えています。

静岡市環境大学

静岡市 環境大学

のご案内

環境大学では、環境に関する専門的な知識を身につけ、主体的に環境に関する課題に取り組み、よりよい環境を将来の世代へ継承できる人材育成を目指しています。大学教授や専門家から貴重な講義を受けることができ、地域や企業、学校で環境学習のリーダーとして活躍を始めている修了生もいます。平成30年度は修了後の活動につながるよう実習やグループワークを増やすなど、カリキュラムをリニューアルします。受講生の募集は4月20日(金)～5月18日(金)の予定です。



平成29年度修了生の声

大和製罐(株) 米澤秀明さん

社内で環境保全活動を行っているなか、知識向上を目的に応募しました。企業に関する環境問題以外に、南アルプスや安倍川、駿河湾等の静岡市が誇る美しい自然に潜む環境問題についても教授や専門の方から深く学び、より環境の大切さを感じました。環境大学で得た知識を基に地域・社会に貢献できるよう活動したいと思います。

しずもーる西ケ谷をご存知ですか？



皆さんは西ケ谷資源循環体験プラザ(通称:しずもーる西ケ谷)をご存知ですか? 平成26年2月に開館し、市民の皆さまに「ごみの減量」や「資源の有効利用」について楽しみながら学べる体験の場を提供しています。再生ガラスや古布、廃材を使用して行う各種の体験講座。4月は、再生ガラスを使用する「まんまるガラスで作るネームアクセサリ作り」を開催します。また、併設の天然温泉は清掃工場の余熱を利用して温められております(大人410円・小人200円、足湯は無料)。ぜひ一度お越しください!

●所在地: 静岡市葵区西ケ谷553-2 ●TEL: 054-294-7451
●開館時間: 午前9時～午後4時 ●休館日: 月・火曜・年末年始

4R体験フェア2018を開催しました



静岡市は、4R [フォーアール = Refuse(断る)、Reduce(減らす)、Reuse(再使用する)、Recycle(再生利用する)]をキーワードに、ごみの減量に取り組んでいます。毎年、開館記念月である2月に、しずもーる西ケ谷において、「4R体験フェア」を開催しています。今年度は平成30年2月18日(日)に開催しました。廃棄物を材料にクラフト作品を作るワンコインリサイクル工作やフリーマーケット、西ケ谷清掃工場見学ツアーなどを実施し、楽しみながらごみの減量について学んでいただきました。

今年度は平成30年2月18日(日)に開催しました。廃棄物を材料にクラフト作品を作るワンコインリサイクル工作やフリーマーケット、西ケ谷清掃工場見学ツアーなどを実施し、楽しみながらごみの減量について学んでいただきました。

冬のおいしいもの 食べきりキャンペーンを開催しました!!

平成29年12月14日～平成30年1月31日



静岡市とパルシェ飲食店が一丸となって取り組めました!

皆さんは食品ロスについてご存知ですか? 昨今話題となっている社会的課題の解決に向けて、静岡市とパルシェが協働してキャンペーンを開催しました。忘新年会の時期に合わせて各飲食店で食品ロス削減に取り組み、お客様には食べきりにご協力いただくといった内容です。すぐには解決しない問題ですが、それぞれができることを行うことが大切です。静岡市は今後も様々なごみの発生抑制・排出抑制対策を行ってまいりますので、皆様のご協力をお願いします。

しずもーる沼上の2階展示コーナーに特設のパネル展示を行います。



展示コーナーは、他にも楽しく学べる仕掛けがいっぱい!

エネルギーの地産地消事業を紹介するコーナーが、静岡市のしずもーる沼上に誕生します。この事業は、静岡市と鈴与商事(株)の協働事業で、①清掃工場の余剰電力の公共施設への供給、②バーチャルパワープラントとしての活用、③災害時の通信機器用電源として活用されるものです。しずもーる沼上には、他にも「もったいない」を楽しく学べる展示コーナーも充実していますので、皆さん、ぜひ一度ご利用ください。

●所在地: 静岡市葵区南沼上1217-1 ●TEL: 054-207-8971
●開館時間: 午前9時～午後4時 ●休館日: 日曜・年末年始

事務局からのお知らせ

通常総会の開催について

通常総会の日程をお知らせいたします。

1. 日にち 平成30年5月10日(木)
2. 会場 中島屋ランドホテル
3. 時間 理事会14時30分 通常総会15時00分
講演会15時40分 意見交換会17時10分

下草刈り中止のお知らせ

平成29年10月28日(土)に予定されていましたが、清水区三保クロマツ植樹地の「第2回下草刈り」ですが、台風の影響により中止とさせていただきます。

次回のご参加をよろしくお願いいたします。

【平成30年3月31日現在会員数】 147事業所

随時会員を募集しております。
詳細は事務局までお問い合わせください。

[発行] 静岡市環境保全推進協会
[事務局] 〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 環境局環境保全課内(新館13階)
TEL054-221-9373 FAX054-221-1186
ホームページURL <http://www.shizuoka-kankyosuishin.jp/>